

全国の取り組みを知りたいあなたに
生涯学習のホームページ
<http://www.nona.dti.ne.jp/~maxmona/index1.html>

HOME
PAGE



全国の生涯学習情報・施設情報を検索できるリンク集。全国の市町村・都道府県に設置された施設や機関のホームページを参照できます。個人で作成したサイトとは思えないコンテンツの充実に、目を奪われること間違いなしです。「公民館のページ」や「博物館のページ」といった公共施設のサイトから「各種資格・検定試験」のページまで、多彩なカテゴリーに分類した都道府県別リンク集となっています。英語・韓国語・中国語のいずれにも対応する翻訳機能付きで、ワールドワイドな対応が魅力。利用者が集う掲示板を読むだけでも、生涯学習へ取り組みきっかけとなりそうです。

「住民参画型生涯学習」を学ぼう
ひと・まち 元気PJ
<http://h-genki.hiroshima-u.ac.jp/>

HOME
PAGE



「ひと・まち 元気PJ(プロジェクト)」は、「住民参画型生涯学習」のモデルを構築することを目的にスタートしました。このプロジェクトは、生涯学習に関心のある広島市や東広島市などに在住の人々や、広島大学の学生などが参加し活動しています。地域住民が主体的に企画・運営にかかわり活性化している生涯学習情報を、PJメンバーがレポートしサイトで公開。全国の先進事例レポートや、ワークショップの開催情報、地元ならではの生涯学習に関する情報が盛りだくさんです。「キーパーソンに聞く」では、まちづくり人材バンクも紹介されています。

毎号、いろいろなメニューが楽しめる
「らしっくCafé」。
 コーヒーの代わりに生涯学習や市民活動に役立つ本やHPなど、
 いろんな情報をご用意して、
 みなさまのご来店をお待ちしています。
 さて、今回のご注文の品は…?



助け合って学べる場所を
ラーニングネットひろしま
<http://ww5.enjoy.ne.jp/~jmatsui/>

HOME
PAGE



ラーニングネットひろしまは、生涯学習を切り口に、個人の自立や自己実現、社会参加、地域づくりなどを考える人たちが自由に集まって話し合う場を提供しようとする試みからスタートした、生涯学習NPO(民間非営利組織)です。

広島大学の公開講座情報や、社会人のための大学活用情報が大変充実しています。「制度解説」では、『社会人入試』や『単位制授業科制度』など、働く人のための教育制度に関するトピックスを詳細に解説。社会人学生の体験談も掲載されており、「もう一度学び直したい」という人にとっては万全のサポート・サイトとなっています。

幅広いテーマから選び学べる
エルネット「オープンカレッジ」
<http://www.opencol.gr.jp/>

HOME
PAGE



エル・ネット「オープンカレッジ」は、予定された大学の公開講座を収録し、全国でel-Netの受信局のある公民館などに放送、そこへ受講希望者が集まって集団学習するものです。平成11年(1999年)から始まり、同年11月、明治大学講座「国際シンポジウム」の第1回講座「アジアの政治・経済概況」が大学からライブで各公民館などの受信局に放送されました。その後5年間、エル・ネット「オープンカレッジ」は673講義の収録をして放送講義を公開。全国の名だたる大学が、多様なニーズに答えた特徴ある講座を開講、手軽に始められる生涯学習として人気を博しています。主に通信衛星放送やインターネットで受講でき、ファクスや電子メールで講師に質問も可能です。まちづくり市民交流プラザでも、100を超えるエル・ネットの講義DVDを館内で視聴できます。

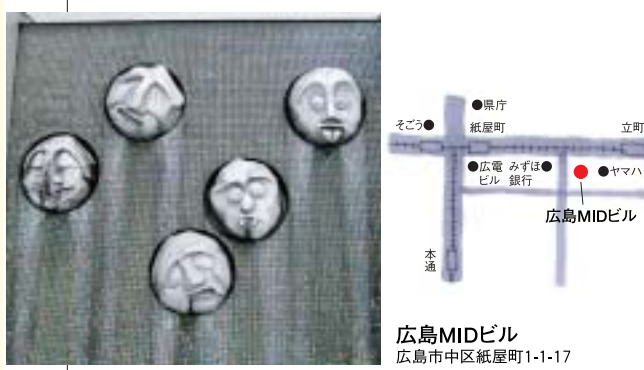
広島の会社が市民の
 “エンジョイ”を応援してくれる、
 おもしろスポットをピックアップ!

ひろしまの会社の
おもしろPスポット

こだわりの
 壁面アート

今回は道行く市民の目を
 楽しませてくれる壁面アートの特集です。

表情豊かな五つの顔
広島MIDビル
 笑ったり、泣いたり、舌を出したり、口をとがらせたり、表情豊かな五つの顔が市民の目を楽しませてくれます。アルミボディの個性的な外観を持つビルとともに「街の目印になれば」との願いが込められたモニュメントです。今では、モニュメントの目の前が紙屋町シャレオ地下街への入り口として身近な存在になっています。平成12年(2000年)度には、魅力的な都市景観づくりに貢献している物件などを表彰する「ひろしま街づくりデザイン賞」(街並み部門)を受賞しました。



広島MIDビル
 広島市中区紙屋町1-1-17



古き良き日本の風景
アンゴラビル(1Fアンゴラ洋品店、2F名陶カフェチアス)
 山や川、田んぼが広がる、日本の古き良き時代の風景。その中を男の子が遊びに出かけて行くところ。作者は絵本作家、戸川幸一郎さん(熊野町在住、広島芸術専門学校講師)。2年前にビルの外壁工事をする際、2階の喫茶店でアルバイトをしていた戸川さんに、「絵でも描いてみたら」と勧めたのが、1階のアンゴラ洋品店を経営する須毛田英尋さんでした。色は黄と茶、赤の3色に限り、「シンブルに目立つように」描き上げました。出来ばえについては「気に入ってます」と戸川さん。山陽本線、横川、至可部、広島銀行、玉姫殿、太田川、横川新橋、至江波、アンゴラビル、広島市西区横川町3-12-3

心癒すホスピタルアート
中電病院
 患者さんの心を癒し、病氣と闘う勇氣を持つてもらおうと、本館1階放射線科前の通路壁面には、青い鳥たちが楽しそうに舞っています。ニューヨーク在住の画家でありイラストレーターの黒田征太郎氏によって描かれたホスピタルアートです。壁面に沿った廊下は、歩行訓練にも使います。幅24メートルに渡って描かれた作品が、患者さんを元気づけているようです。天井を伝う、カルテを運ぶ自走台車の側面にも、青い鳥を見つけたことができました。



中電病院
 広島市中区大手町3-4-27

青空を泳ぐコイ
広島ガス株式会社
 青空を思わせる水色の球体(ガスホルダー)に力強く描かれた3匹のコイ。その間をもみじが舞っています。広島の名物のひとつとしてあげられるのがカキ。カキと云えばコイ。「地域の方はもちろん、観光で訪れた方にもこのイラストを見て親しみを感じていただければ」という思いが込められています。全国のガス事業者の間で、イラストの採用が広まっていたのを受け、同社も平成8年(1996年)に取り入れました。イラストは耐久性を考慮して、マスキング(シール貼付)方式を採用しています。



広島ガス株式会社
 広島市南区皆実町2-7-1



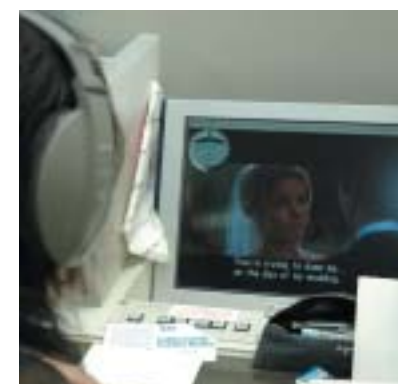
えいち
「H」……それは“英知”すぐれた知恵であり、“叡智”深遠な道理をさとりうる優れた才知でもある。生涯学習のある暮らし、そんな広島の“H(えいち)”をお届けするコーナー。

Eイチ・キャンパス

H Campus



青木信之教授



教材もすべてオリジナルのものを使用

まちづくり市民交流プラザで行われている講座の中でも、特に根強い人気を誇る「インテンシブ英語学習プログラム」。今回のHキャンパスでは、「インテンシブ英語学習プログラム」の誕生とその軌跡を追います。

インテンシブ英語学習プログラムを探ろう！

解決の糸口は、当時普及し始めていたコンピューターにありました。問題を繰り返し解くことで身に付く、反射的な語学力が、語学の習得には不可欠です。反復学習の相手をコンピューターがするようにできれば、その分学習時間を増やせるし、手の空いた人員を指導学習にあてることができる。こうした発想から、平成6年(1994年)に青木教授の挑戦は始まりました。

花開く「インテンシブ英語学習プログラム」

そして10年を経た今、青木教授らが積み重ねた実績は実を結びつつあります。社会人へも提供できればと、平成14年度(2002年)からまちづくり市民交流プラザでもプログラムを実施することになりました。

昨年は、「インテンシブ英語学習プログラム」にとつて転機の年になりました。まず市立大学では、長期休暇の間だけ希望者に行っていたプログラムを、「CAJ」英語集中(他学部では「CAJ」英語総合)として国際学部の必修科目に設定。文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」の対象としても採

択されました。

「10年かけて、より効果の高い英語学習プログラムを追い求めてきました。当初はソフト開発からですから大変でしたが、立川さんや同僚の渡辺智恵助教授の協力を得て進めることができました。細かくデータを取り、成果を論文として発表するなど、地道な研究と努力の成果が、今の成功につながっていると思います」と、青木教授は語ります。企業や他大学、高校との提携や社会人向けプログラムなど、現在より幅広いニーズに答えた英語学習プログラムを開発中だとか。インテンシブ英語学習がどんどん身近になっていきそうです。

プログラム開発に携わった
光琳館社長 立川幸男さん



光琳館社長 立川幸男さん
実質的な「インテンシブ英語学習プログラム」の開発に携わったのは、安佐北区にある光琳館です。予備校教師でもある光琳館の立川社長は、青木教授とは20年余の友人。パソコンを用いた学習方法に以前から興味を持っていたこともあり、青木教授のプログラム開発に協力。インテンシブ英語学習のシステムづくりには、最初のテスト段階から関わりました。市民交流プラザでプログラムが用いられるようになって、今まで気づかなかった問題点も多く浮上したそうです。
「市立大学の授業で使っている時よりも不特定多数の人たちが使うので、その分いろいろなケースが出てきます。問題点を教えていただけることで、より良い商品開発につながります」とのこと。企業貢献の形の一つと言えます。

Hキャン レポート

大学活用フェア'04

7月2日～4日の3日間、4階ギャラリーにおいて、社会人のための大学活用フェア'04を開催しました。大学が生涯学習に果たしている役割を周知するとともに、市民の大学活用のきっかけづくりとなることを目的に開催しているこの催しも、今年で3回目となりました。



「社会人の学びと大学の今」をテーマに活発な意見交換

会場には、生涯学習に興味・関心を持つ多くの社会人が集まり、大学職員の方に熱心に相談したり、大学のパンフレット等に目を通していました。社会人学生の体験談や大学の現状を紹介するイベントでは、大学職員、社会人学生、そしてこれから学ぼうとする社会人など、いろいろな立場の人が積極的に意見

を述べ合っていました。

また、地域と大学が連携して活動している事例の紹介など新規の催しが増え、来場者の方々からも好評でした。

なお、社会人入試など広島県内の大学の情報については、引き続き1階情報コーナーに資料を展示していますので、お気軽にご覧ください。

参考ホームページ:ラーニングネットひろしま
<http://ww5.enjoy.ne.jp/~jmatui/>

講座案内

まちづくり市民交流プラザ
リカレント講座

「日本文学紀行」

▼日時 11月6日、22日、12月4日、18日・来年1月8日、22日の土曜日
午後2時～4時(全6回)
▼会場 Ⅱまちづくり市民交流プラザ
▼定員 Ⅱ先着30人 ▼受講料 Ⅱ3千円
▼申込・問合せ Ⅱはがきに住所・氏名・電話番号を記入し、10月29日(金)必着でまちづくり市民交流プラザ 〒730-0036 中区袋町6-36宛てにお送り下さい。

広島女学院大学公開セミナー 「ヨーロッパ・生きる喜び、生きる知恵」

▼日時 10月16日、23日、30日、11月6日の土曜日 午後2時～4時(全4回)
▼会場 Ⅱ広島女学院大学 人文館303V教室
▼定員 Ⅱ200人
▼申込・問合せ Ⅱ広島女学院大学総合研究所事務課 ☎082-228-0386
▼電子メール Ⅱsouken@gaines.hj.ac.jp

広島市立大学国際学部公開講座

「持続可能な社会を築くために(Ⅱ) 21世紀の環境と開発・人類の共生をめざして」

▼日時 11月12日、19日、26日、2月2日、9日、16日 午後7時半～9時(全6回)
▼会場 Ⅱまちづくり市民交流プラザ
▼定員 Ⅱ100人
▼申込・問合せ Ⅱはがき、ファクス、電子メールのいずれかに住所・氏名・電話番号を記入し、12月10日(金)までに、「広島市立大学

シティカレッジ

10月2日(土)～12月16日(木)の期間に行われるシティカレッジです。受講したい人は、各講座初日の10日前までに、はがきに①科目名②氏名③住所④連絡先を記入して まちづくり市民交流プラザあてに投函してください。電話・ファクスでの申込みもできます。

大学名	広島文教女子大学	広島大学	広島経済大学	広島国際学院大学
テーマ	ストレスと心理学 —自分できる ストレス解消法—	私たちの生活と環境 —環境修復・改善に どう取り組むか?—	ビジネスマンの ための経済再入門 21世紀のメディアとビジネス	都市を読み解く —都市のパス ペクティブズ—
期 間	10月2日～30日 (毎週土曜日)全5回	10月6日～11月17日 (毎週水曜日) 全6回(11/3を除く)	11月8日～29日 (毎週月曜日)全4回	11月18日～12月16日 (毎週木曜日)
時 間	10:00～11:30	18:00～19:30	18:30～20:30	18:30～20:30
定 員	50人	50人	100人	50人
受講料	無 料	6200円(テキスト代を含む)	無 料	無 料

※定員に達した場合はご了承ください。



音階ボタンを読み上げながら指導する西本さん

大正琴を指導する西本恵子さん

視覚障害者の自信につなげたい

父と伯母に影響を受けた箏生田流箏曲・三絃師範、琴城流大正琴の師範、文化箏の教授などの免状を持つ西本恵子さんは、中途失明者のグループ「カナリヤ大正琴同好会」に大正琴の指導をしています。

尺八師範の父と箏師範の伯母の影響で、西本さんは幼少のころから箏を始めました。高校生の時に、ある演奏会で「日本人の心を

揺さぶる箏の音」に感銘を受け、それからはお稽古に週4日通い、自宅で毎日練習するほどのめり込んでいきました。

また、師匠に視覚障害があったことから点字や音符の点訳、視覚障害者のボランティアガイドにも携わるように。そんな中、中途失明者のグループ「カナリヤ会」からの依頼で大正琴を教えるようになりました。

何が分らないかが分からなくて……

「カナリヤ大正琴同好会」は、今年で発足7年目。「ふるさと」「夕焼け小焼け」「北国の春」など多くの曲を演奏できます。しかし

教え始めの頃は、視覚障害者の指導方法が分からず、戸惑ってばかりでした。楽器の構え方から、ピックの持ち方、弾き方まで二人ひとりに手を添えて教えなければなりません。「1、3、5…」と音階ボタンを読み上げながら教えるため、声がかれて出なくなることもありました。生徒は目が不自由なため、楽譜を暗譜するのに普通の3～5倍の時間がかかりますが、出来上がったときの喜びはひとしおです。

人を喜ばせることが自信に

今では、生徒自ら凹凸の印を楽器に付けたリ、演奏を録音して自



さまざまな工夫を凝らし、演奏をするメンバー

宅で練習するなど、自分なりの工夫をするようになりました。その成果を披露しようと、老人ホームへの慰問など、積極的に活動しています。昨年まちづくり市民交流プラザであった「やさしさふれあい交流まつり」に参加。「ふるさと」の演奏に合わせて会場のお客さんが一緒に歌ってくれました。また、今年5月には「倉掛のぞみ園」で、入園者の方々とのジョイントコンサートに成功しました。

「他人に助けてもらうことが多い皆さんですが、『自分たちも人を喜ばせることができる』と知って、自信につなげてほしい」。そんな思いを胸に、西本さんは指導を続けます。



「特別養護老人ホーム和楽荘」で演奏を披露

古典芸能で人々の笑顔を引き出す

古典芸能を後世に

かすりの上衣に豆絞りのズボン、頭に手ぬぐい、鼻には一文銭、腰にはびくを着け、竹かごを持って安来節に合わせて踊るどじょうすくい―幸基会では日本の古典芸能を伝えるための活動を行っています。

幸基会の指導者・藤本秀升幸さんは三味線、日本舞踊、どじょうすくい、南京玉すだれ、歌舞伎……と多くの古典芸能を教えています。本名は谷幸子さん。子どもの頃から芸事が大好きで、いろ

いろな芸能をたしなめました。「基町に住む幸子ちゃんだから幸基会ね」と、会の名前は三味線の師匠が付けてくれたそうです。

こつけない姿を真剣に練習

毎月第3土曜日に西区己斐のフジハイツ集会所に集まるどじょうすくいの会は、平成4年（1992年）に発足。現在は6人のメンバーが練習をしています。

こつけない姿を追求するどじょうすくいですが、練習は「礼に始まり礼に終わる」と、同は深々と



輪になって真剣に練習に励むどじょうすくいの会の皆さん

果を披露するつもりで慰問した福祉施設「広島平和養老館」で、入所された人々が涙を流して笑ってくれる姿にやりがいを感じ、今では積極的に慰問の準備も行うようになりました。

そんな会員の皆さんについて、「こ

の会には優しくて良い人ばかりが集まってくるのよ」と評価する谷さん。一方会員たちは、70歳になるとは思えない張りのある声で突然美空ひばりの歌を歌い出す、谷さんの明るい人柄にひかれて集まってきているようです。



9月にまちづくり市民交流プラザであった「達人たちの夢 2004」で、来場者を笑わせる小野寛さん（左）と松尾博憲さん（右）



三味線からどじょうすくいまで、多くの古典芸能を教える藤井秀升幸さん



古典芸能のグループ 幸基会

笑ってくれることを励みに

会社の忘・新年会ではカラオケが多いので、個性を出そうと思って始めたという小野寛さん、慰問先でどじょうすくいを見て興味を持ったという山口県から通う蔵内博文さんなど、さまざまな動機で集まった会員の皆さん。練習の成

Information

●今回「達人図鑑」で紹介している方々は、「ボランティア人材バンク」に登録されています。
●ボランティア人材バンクは、「仕事や学習、趣味などで得たノウハウを生かして、ボランティアで依頼団体に助言や指導、さらには技の披露などを行う人」を登録しているリストです。紹介申込・登録申込などのお問い合わせは…まちづくり市民交流プラザ
TEL 082-545-3911 FAX 082-545-3838

あると便利

まちづくり学校 道工具箱

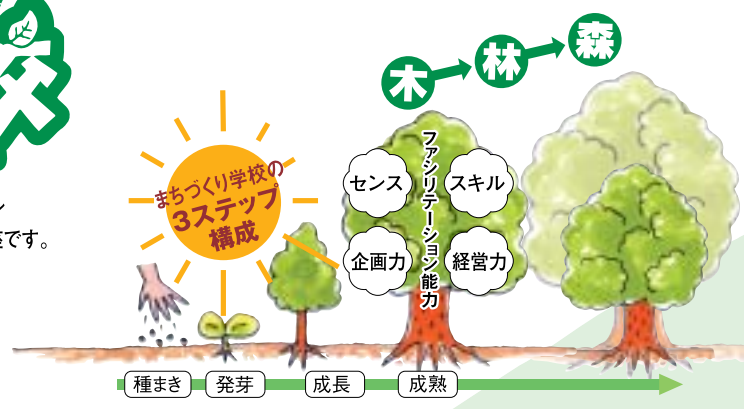
ワークショップにあると便利なものをそろえてみました。まちづくり学校では、ワークショップのときにあると便利なアイテムをグループ作業で使えるように「道工具箱」を用意しています。これだけそろえていれば、参加者からアイデアを集めたり、会議の記録をとったり、発表のタイムキーブをするときに使えます。

ひろしま まちづくり学校

まちづくり活動に参加している人・参加したい人集まれ!

●まちづくり活動を進めたい人のためのファシリテーター育成セミナー●

さまざまなまちづくり活動の場面で役立つファシリテーション技術を、3カ年にわたり継続してステップアップしていく講座です。



今回は、「まちづくり学校・基礎編」修了生の最後の活動について紹介します。

まちづくり学校 第二巻「まち学生 体験記の巻」



裏あそび発見隊の心得を伝える森川さん

まずはお宝の場所探し。自分たちで「ここぞー」と見つけた場所が、お宝の場所。子どもたちは、あらかじめ隠されていたメッセージを手掛かりに「思わず登ってみたくなる木」かくれんぼし

「まずは来てもらいたい」「公園の魅力を発見してもらいたい」「ちょっと秘密めいて子ども(大人も)の好奇心をくすぐりたい」。そんな思いから、「花みどり裏あそび発見隊」「花みどり裏あそび行動隊」と題したワークショップをすることになりました。

第1弾は、「宝探し&花みどりの裏地図「つくり」(8月8日)」

活動を広げる、人と人をつなぐワークショップ 森川博代



寸劇で夏場市長を演じる宮本さん

まず場を和ませるため、ワークショップの目的を分かりやすく寸劇で紹介し、広島市の歴史を年表により振り返りました。その後、都心づくりの5つのテーマ「住みよい」「にぎわい」「行きよい」「居心地よい」「歩きやすい」に分かれてアイデアを出しました。それをもとに、どんな取り組みを市民・企業・行政が実施すべきか意見を交わし、具体的なアクションプランを作

主催者が求める成果の達成度。参加した人の満足度。どちらも気になるワークショップ! 宮本克己

チャンスがあれば逃さないのが「まちづくり学校・基礎編」修了生のいいところ。まちづくりへのきっかけづくりの講演やワークショップの企画・運営など、修了生の活動の様子をお伝えします。それぞれの企画にかかわった皆さんのチャレンジ秘話を聞いてみました。

今回の目的は、公園のイメージ改革。成果は、「お宝の裏地図」ができたこと。参加者が公園のスタッフに親近感を持てたこと。そして、私自身もとても勉強になり、花みどり公園の魅力を知ったワークショップでした。この「お宝の裏地図」を使って、またいろいろな遊びに発展してもらえたらと思っています。



参加者が主役になって進めるワークショップ

たら、絶対に見つかりそうにない場所など、地図の端から端まで楽しそうに探し歩いていました。最後に、みんなで見つけたお宝場所を大きな地図に書き込んで、参加した人だけが手にする「お宝の裏地図」の出来上がり。

第2弾は、「お宝の裏地図」に生き物の居場所をプラス(8月21日)

「私は誰でしょう」という、生き物の名前当てクイズをしながら、裏地図に生き物のいた場所を書き込み、また新たな裏地図の出来上がり。

きつかけは、「一本の電話。『お手伝いします』のはずが...」 正藤英夫

まちづくり学校の講師の下田卓夫さんから「安芸区・中野公民館で、まちづくりについて話すことになりました」という電話があり、即座に「お手

このワークショップは広島市の主催ですが、「まちづくり学校・基礎編」修了生も企画段階から加わりました。参加する人を想定して企画内容を考え、当日は「グループファシリテーター」や司会進行、寸劇、会場運営にかかわりました。今回の取り組みで、多様な参加者の合意を築き、成果と満足感を勝ち取ることの難しさを改めて痛感しました。この経験をもとに、9月から始まる「まちづくり学校・熟練編」で合意形成を進めるファシリテーション技術を磨きたいと決意しています。



参加者の意見をしっかりと聴く! 引きだす! (右端は修了生の岡本さん)

Information

まちづくり学校二期生の募集について

まちづくり学校・基礎編の開催を1月~3月で予定しています。内容は、一期生に引き続き「まちづくりファシリテーターの育成セミナー」を予定しています。

募集は、12月1日号の市民と市政及びパンフレットでお知らせします。みなさんの応募をお待ちしています。

いつの間にやら編集長!! 『使える・増える・オリジナル』まち学ファイル完成!

まち学ファイル編集長 早坂有美

夏も近づき始めたころ、「まちづくり学校・基礎編」修了生の有志でまとめ作業をするようになりました。

基礎編を修了した私たちは、まだファシリテーター初心者ですが、まだベテランの方も大勢いらっしゃいます。その私たちがワークショップなどに携わったとき、基礎編で習得した手法や心構えを思い出さなければならぬ時に携帯でき、ヒントやポイントが的確にそして端的に書かれたものがあれば、という思いからテキストブックを作りました。

全5回で学んだ各手法、手順、準備物など、まちづくり学校の内容を網羅したテキストブックは、熟練編での成果も追加できるようにリングファイルに綴じることができました。これからは、それぞれの経験や成果も追加して、本当のMyText Bookになっていくよう「まち学ファイル」を育てていくのも楽しみです。

まち学ファイル (初版完成!)

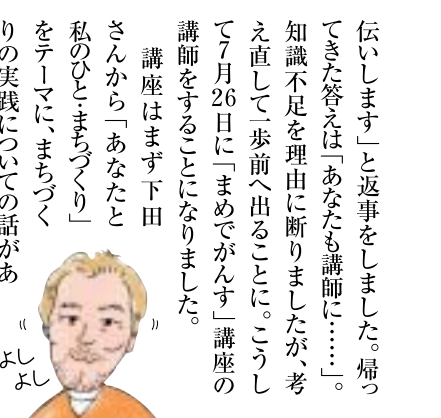
これが出たら拍手してね!

伝います」と返事をしました。帰ってきた答えは「あなたも講師に...」。知識不足を理由に断りましたが、考え直して一歩前へ出ることに。こうして7月26日に「まとめがんです」講座の講師をすることになりました。

講座はまず下田さんから「あなたと私のひとまちづくり」をテーマに、まちづくりの実践についての話がありました。私が「ワークショップ新しい学びと創造の場」をテーマに、「①参加し②体験し③グループで刺激し合う」の3つの段階を追って、まちづくり学校や安芸区街道マップ作りでの体験を紹介しました。

話のあとで、「今、広島文化が弱っているとしたらそれは私たち市民が『参加しよう、楽しもう』という前向きな姿勢が欠けているからではないでしょうか。まちの魅力や文化財を知り、故郷の魅力に気づくきっかけになつてもらえれば」という思いを伝え、無事話を終えることができました。

今回の私の第一歩もそんな思いに似ているかもしれません。



正藤さんをその気にさせた下田さん



パワーポイントで要点を分りやすく説明!